

授業改善等に関する報告書（2024 年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2024（後期）生活文化学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	島崎　あかね	アンケートの回答が前期に引き続き2名であることを踏まえてコメントします。 後期のゼミナールでは、次年度の卒業論文執筆に向けて各自が興味関心のあるテーマに即した先行研究をレジュメにまとめて発表したり、絵本の読み聞かせも行いましたが、人体の不思議さ、呼吸法や簡単な運動による心身の変化等実技的な内容にも取り組みました。 4月からは卒論執筆が中心のゼミになりますので、春休みからテーマを考え、先行研究の収集などを進めて行きましょう。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	田中　正浩	アンケートへの回答はない。したがって、アンケート結果をもとにした分析、評価はできないが、授業自体は前期の反省を踏まえて卒論研究に向けての活動を中心にした。多少集中度を高めることができたのではないと思う。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	井上　陽童	学生からの回答が0件でした。アンケートのアナウンスを改めて丁寧に行っていきます。 学生の取り組み自体は大変熱心でした。ありがとうございました。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	井口　眞美	子どもたちと劇をやり遂げる中で、苦労もたくさんありましたね。 それでも、人任せにせず、「何ができるだろう」「今、何をすべきか」を考えて行動していた姿は立派だったと思います。 ここでの実践的な学びを来年度は卒業論文の形で深めていきましょう。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	大澤　朋子	1年間おつかれさまでした。 調べ学習の練習をしましたので、いよいよ次は卒論です。がんばりましょう。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	作田　由衣子	1年間、それぞれのテーマに沿って頑張って取り組むことができました。4年生でも引き続き、研究を深めていきましょう。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	塩川　宏郷	後期は前期に学んだことを発展させ、卒業研究に向けた文献収集を行い、卒論アウトラインの作成をゴールとしました。最終回には卒論構想発表会を行い各自のテーマを検討しアウトラインをブラッシュアップしました。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	高橋　桂子	提出者0名のため、コメントなし
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	塚原　拓馬	今回は回答者がいなかったため、今後は積極的に回答を促すように努めたい。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	水野　いずみ	仲間と協力しながら、しっかりと取り組めていました。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	野尻　美枝	回答者がゼロ名でした。学生同士の協働性について体験を通して学べたのではないかと思います。次年度は、本格的な卒業論文の執筆に入ります。引き続き、意欲的に取り組んでいってください。
ゼミナール（論理的判断とコミュニケーション）	渡辺　敏	貴重な意見ありがとうございます。 頂いた意見は卒業論文の指導に活かします。
家庭経営学概論	高橋　桂子	こちらもクォーターで忙しかったですが、「高校でエクセルを習ってから、期間が空いていたのでうまくできるか不安だったが、分かりやすい説明で、取り組むことができた」、「PPTの見やすさは使い方次第で大きく変わることを学び、今後に活かしていきたいと感じました」との回答でした。Excelのスキルは社会人にとって重要です。「Excelに対しての苦手意識が少なくなった」良かったです。
基礎演習 a（論理的表現とコミュニケーション）	井上　陽童	学生からは、全項目で満足以上の回答をもらい、安心した。どの学生も意欲的に取り組んでくれたおかげで、大変講義を進めやすかった。さらに講義内容を工夫していきたい。
基礎演習 a（論理的表現とコミュニケーション）	田中　正浩	アンケート結果を受け止め、受講生にとって満足度の高い、自身の成長を実感できる授業をめざし、改善していきたい。とくに、授業方法及び使用教材（資料）において、受講生の目線でより一層の工夫をする必要があると感じている。
社会福祉	大澤　朋子	半年間の受講おつかれさまでした。 福祉の入口をお話ししました。 各回の内容について、より深く学びたい方は、ぜひ他の科目や書籍にあたってください。

[2024（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
女性の健康と現代医療	塩川 宏郷	女性の身体と妊娠・出産・育児および女性に特徴的な疾患や生理現象について講義しました。性的な内容を含むため、その部分について聞きたくないという人には退席を許可しましたし、できるだけドライな話し方をしたつもりですが、次年度からはそれらの内容を排除して授業を構成しなおしたいと思っています。
生涯発達心理学 b	塚原 拓馬	総合的な満足度は全体平均よりも高い評価を頂いた。今後はさらに向上できるように努めていきたい。
生涯発達心理学演習 b	塚原 拓馬	授業に対する評価は一定以上の評価を頂いた。今後は回答率を高めるため履修者全員に回答をしてもらえるように努めたい。
生活の科学	水野 いずみ 塩川 宏郷 大川 知子 白尾 美佳 橘 弘志	ご専門の先生方のご講義をふまえて、取り組めていました。頂いた内容を以降に活かしていきます。
生活文化史 2	笠原 良太	歴史的想像力を少しでも身につけた学生がいてよかったが、ヒットしていない学生もいて差が大きい。全体の底上げができるように、グループワークの時間を前半からとりたい。次年度の出欠はレスポンスとアンケートの2つでとる。